博士論文要録

題名　○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○（14 pt）

阿井　上夫（10 pt）

学位授与：下菊大学大学院環境科学院（2022年3月20日）（10 pt）

**[緒言]**（9 pt，**ボールド**）本文（9 pt）このテンプレートは，「博士論文要録」欄に投稿いただく際にご使用いただくものになります．原則として受理された原稿に基づいて組版いたします．

投稿に際し，「ぶんせき」執筆要領および『博士論文要録』執筆の手引きをご覧ください（両ファイルとも、「ぶんせき」誌HPの「手引き」のページからダウンロードできます）．以下に本誌の原稿作成指針を示します．

ここに示したようなフォーマットでの原稿作成が困難な場合には，編集委員会へご相談ください．

原稿を作成するにあたり，上付き・下付き，Italic，Boldなどの指定は確実に行って下さい．スタイルを指定し，フォントの上付き・下付き，イタリック，ボールドの各属性を指定してください．

　【博士論文要録】 （刷り上がり 2 ページ以内，英文要旨200語程度を含む）

内容：

「博士論文要録」（以下，要録と略す）は，分析化学及びその関連分野に関する博士論文の要旨を簡潔にまとめたもので，その学位取得者自身により執筆されたものをいう．要録は，会員の推薦に基づき編集委員会の依頼により執筆される．なお，学位授与後２年以内のものを対象とする．

執筆上の注意

「ぶんせき」執筆要領および『博士論文要録』の手引きを熟読したのち，執筆すること．

原則として4000字以内であるが，編集委員会で認められた場合には，最大4ページまで増やせるものとする．

図表は，原則として使用しない．やむを得ず必要な場合には，「分析化学」投稿の手引きの3項に従って作成する．この場合，全体で刷り上がり2ページとなるように図表の大きさに注意すること．なお，学術雑誌等に発表済みである場合には，掲載許可を得ておくこと．

E-mail: ueoa@kakiku.ac.jp（8 pt）

現連絡先の機関　株式会社北海道ケミカル：

　　　　　　　012-3456　北海道札幌市北区北78条西9

　　　　　　　丁目10-11

学会受付

**[様式について]**「博士論文要録」欄の原稿は本テンプレートで作成して下さい．

原則，対応の段落スタイルを適用させればよいですが，参考までに基本設定を記します．

ページの余白は以下の通りです．変更はできません．

上　20 mm，下　20 mm，左　20 mm，右　20 mm

一行の文字数（2段組） 26文字

1ページの行数 52行

　　題名 14 pt

　　要旨タイトル（英文） 9 pt，**ボールド**

　　要旨（英文） 9 pt

　　著者名 12 pt

　　見出し 9 pt，**[ボールド]**

　　本文 9 pt

　　文献 9 pt

**[注意事項]**執筆要領に記載の「原稿の書き方」に基づいて注意事項を記します．

1 題 名

記事の内容を的確に示したものとし，依頼時の題名と大幅な変更のないようにする．また，普通名詞化したものを除き，原則として商品名及び略号を用いない．ただし、技術紹介記事はそのかぎりではない．

2 本 文

2·1 原稿は，原則としてテンプレートを用いて作成する．

2·2 文章は，原則として平仮名書き，平易で簡潔な文章体（「である」式）とし，常用漢字と現代仮名遣いとを用いる．

2·4 句読点，括弧は，1 字に数え，原稿の書き始め及び行を改めたときの書き始めは，1 字あける．なお，句読点には「．」「，」を用いる．

2·5 英数文字およびギリシャ文字は半角とする．

2·6 外国の人名，会社名などは，原則としてローマ字つづりで書き，周知の術語となっている人名などは片仮名書きとする．また，欧米語は，原則としてすべて小文字とする．ただし，固有名詞は大文字で書き始め，学名はイタリック体とする．

2·7 特殊な文字，書体，記号はできるだけ避ける．また，添字の添字は特別な理由のない限り避ける．

2·8 略号は，最初に出てくる箇所で正式名称の後に ( ) に入れた略号を付記する．

2·10 引用文献がある場合は，本文中その項目の右肩に 1) 2) のように，通し番号を付け，本文の最後に文献欄を設けまとめて書く．また，引用する人名は，原則として第一著者の姓のみを記し，敬称は付けない．その他を略して「……ら」とする．欄によってはこの限りではない．

2·12 構造式を使用する場合は，原則として〔I〕, 〔II〕, 〔III〕などと本文中に記し，本文中で挿入箇所を指定する．

3 文献

文献の記述は「ぶんせき」執筆要領の3. 文献にしたがう．

7 専門用語

最新の “学術用語集化学編”（文部省）または “分析化学用語集”（日本分析化学会編）参照．

8 化合物名

8·1 原則として IUPAC 命名法に従い日本語で書く．ただし，誤解のおそれがなく，理解しやすい場合には，元素記号，化学式を用いても差し支えないが，その際は一原稿中で統一する．

8·2 最新の “化合物命名法” (日本化学会標準化専門委員会化合物命名小委員会編) 参照．

9 物理量の記号，単位，数と数式

9·1 物理量の記号及びその使用上の規約は，なるべく IUPAC の勧告に従い，慣用のものでも最初に出てくる箇所でその定義を明示する．

9·2 単位は，できるかぎり国際単位系 (SI) を用いる．

9·3 数式は，本文文章中では (a+b)/(c+d) のように書く．ただし，式だけを別行に書く場合は，



のような記載も可能とする．

9·4 物理量，単位，数及び数式については，最新の “「分析化学」投稿の手引き付記 A2 及びA3”（毎年本誌 3 号に掲載）並びに “「物理・化学量及び単位」に関する記号と術語の手引”（日本化学会標準化専門委員会編）を参照．

**[結論]**　原稿は，[緒言]，[章1]，[章2]，…[結論]の章立てで作成ください．

**公 表 論 文**

1) U. Ai, B. Suzuki, C. Sato: *J. Oceanogr*., **20**, 310 (2021).

**引 用 文 献**

1) B. Suzuki, C. Sato: *Chem. Geol*., **18**, 100 (2018).

**Digest of Doctoral Dissertation**

Title (9 pt, bold)

Ueo AI

E-mail: ueoa@kakiku.ac.jp

HOKKAIDO CHEMICAL

10-11, Kita 78, Nishi 9, Kita-ku, Sapporo-shi, Hokkaido 012-3456

(Awarded by Graduate School of Environmental Science, Kakiku University dated March 20, 2022)

Abstract. abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract abstract.

(Received …)

***Keywords***: Aaaa; Bbbbb bb; Ccc ccccc; DdD Ddddd; Ee eeeee.